

は し が き

本県の水産業・漁村を取り巻く環境は、資源状況の悪化や魚価の低迷、漁業就業者の減少・高齢化に加え、燃油価格の高騰など、依然として厳しい状況にあります。

県においては、こうした状況を踏まえ、平成23年3月に新たな「鹿児島県水産業振興基本計画」を策定し、今後は、本計画に基づき「おさかな王国かごしま」の実現に向け、水産業の振興と漁村の活性化に取り組んでいくこととしています。

当センターにおきましても、同計画に基づき「水産技術の開発と普及」を図るため、漁海況情報の迅速な提供、重要魚種の資源調査、赤潮被害防止対策、藻場造成の技術開発、新たな加工品の開発支援、スジアラ等有用魚介類の種苗生産技術の開発など、多様化する研究ニーズに対応した研究を進めていくこととしています。

平成22年度は、センターに再編・統合してから7年目にあたりますが、この間行ってきたカンパチの種苗量産技術開発について一定の目処が得られましたことから、県は垂水市内の県種苗生産施設に新たにカンパチ種苗生産施設を整備し、今年度から、同施設で生産されたカンパチ種苗が県内の養殖業者へ供給されることとなっています。

ここに、水産技術開発センターが平成22年度に実施した試験研究等の結果を「事業報告書」として取りまとめましたので、参考にしていただければ幸いです。

今後とも、多様化・高度化するニーズに的確に対応しながら、計画的で効果的な試験研究に取り組むこととしておりますので、皆様の御理解と御協力をお願いします。

平成23年8月

鹿児島県水産技術開発センター
所 長 佐 野 悦 郎